

平成 20 年度 第 3 回理事会議事録

期 日 平成 21 年 3 月 20 日 (金) 14:00 ~ 17:00
場 所 (株)開発工営社会議室
出席数 理事 26 名の内、出席 18 名、欠席 8 名
議 事

1 . 平成 20 年度各委員会活動報告

- ・ 前回の理事会で、所定の様式で提出されていなかった大学委員会から、活動報告書が提出された。
- ・ 前回の理事会で、口頭の説明があった特別検討委員会の財務検討委員会と北海道大会検討委員会から、活動報告書が提出された。
- ・ 前回の理事会で、委員長が病気療養中で報告書が提出されていなかったメディカルソサエティから、安全対策委員長が代行して活動報告書が提出された。
- ・ 社会人クラブ委員会から、東日本トップクラブディビジョン 2 におけるサツテツクラブの棄権の経緯について、活動報告書の追加と説明があった。次年度の対策について社会人クラブ委員会でサポート体制等を検討し理事長・副理事長に報告し承認を得ることが確認された。また、追加提出された活動報告書の記述については再検討することで了承された。
- ・ 庶務担当理事より、平成 20 年度優秀選手の成年の部・大学の部（ベストフィフティーン）・少年の部（国体選手団）の名簿が提出された。

2 . 平成 20 年度会計状況について

- ・ 会計担当理事から、現時点までの会計状況について報告があった。当初、赤字予算を組んだが、予算計上されていなかったトップリーグのチケット販売手数料及び業務委託料の収入、オフィシャルネクタイの販売収入があったことと、各委員会で大会などの支出を抑えてくれたことなどの要因で約 100 万円の黒字決算となり、次年度に約 280 万円繰越できる見通しとなったことが報告された。

3 . 平成 21 年度事業計画

- ・ 庶務担当理事より、各委員会の事業計画、事業計画日程についての資料が示され各委員会と確認した。
- ・ 維持管理の観点から使用制限を設けている月寒グラウンドの使用予定について確認した。9 月の使用されていない期間に、札幌支部の高体連地区大会 4 日間の試合で使用したいとの希望があったが、他の大会及び他の地区との兼ね合いから従来通り 2 日間の使用とした。
- ・ 理事より、第 52 回東日本医科学生総合体育大会ラグビー競技を、8 月 1・4・7・10・13 日に野幌運動公園グラウンドで行う予定になっていたが、8 月 1 日が定山溪グラウンドとなった経緯について質問があった。
- ・ 庶務担当理事より、東日本医科学生総合体育大会ラグビー競技の会場変更について説明があった。変更については、8 月 1・2 日に北海道体育・文化協会杯の北海道ジュニアラグビー選手権大会と重複したため変更になったことが説明された。

理事からは、次年度以降は優先順位を考慮した動きをしてほしいとの要望が出された。

- ・ 理事より、支部での説明のため事業計画資料に大学選手権の開催地を全て明記するよう提案があり了承された。
- ・ 安全対策委員長より、平成 21 年度事業計画における安全推進講習会について資料を基に説明があった。講習会開催が未定となっている支部は旭川支部と北見支部であるが、北見支部は総会に合わせて実施する方向で検討中であることが報告された。旭川支部は関係者と調整を行う。

4. 平成 21 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事より、平成 21 年度事業予算について説明があった。各委員会からの予算申請通りで組むと、約 80 万円の赤字となる。
- ・ 関東協会借入金返済がある平成 21 年度及び平成 22 年度予算は、平成 20 年度予算を上限とし前年度比 5% 減で編成していくことが説明され承認された。
- ・ 平成 21 年度事業予算は、単年度収支が約 3 万円の黒字となり、翌年繰越が約 290 万円となる予算編成をすることが承認された。

5. チーム登録について

- ・ 会計担当理事より、平成 21 年度チーム・個人登録及び傷害報告について資料を基に説明があった。
- ・ 平成 21 年度チーム・個人登録にかかわる説明書及び登録様式ファイルは、3 月上旬に各支部に郵送した。
- ・ 今年度の登録における注意事項としては、登録方法は前年度と同じであるが、登録様式は平成 19 年度以前のものを使用しないこと、提出部数は 3 部とすること、コーチ資格者及び安全推進講習会受講者についての記入欄に必要事項を記載することであり、このことを支部においても提出された登録書を確認することが要請された。
- ・ 傷害報告は、ルールに則って適切に処理することが要請された。
- ・ コーチソサエティ委員長より、コーチ資格の期限切れの問題について報告があった。この問題が多く発生しているため日本協会では業者に委託して 1 年位をかけて整備を行う。北海道協会ではデータがあることから不明の場合は照会すること、期限切れ・紛失について救済措置があることが説明された。詳しくは北海道協会 HP に掲載する。

6. 北海道選手権大会について

- ・ 競技委員会より、北海道大会検討委員会の答申に基づいて検討した北海道選手権大会の要項について説明があった。
- ・ 理事から意見があり、以下について決定した。

試合時間については、細かく分けるのではなく、もう少し大枠でやってほしい。

A、B ブロック以外は、2 日間で試合を行う方向で検討してほしい。

平成 21 年度の第 39 回大会は、競技委員会から提出された要項にしたがって

実施するものとする。ただし、要項における文章で「A,B ブロックの試合時間については特別委員会答申により試合時間変更とします。」については、答申では、試合時間は会場やレフリーなどを考え合わせ検討することが条件であること、外の答申もありそれらの兼合いもあることから、削除することが決定した。

平成 21 年度の第 39 回大会後に検討委員会を開催し、第 39 回大会の反省、節目となる第 40 回大会の目玉となるものを作ることについて検討し、理事会に答申することが決定した。

7.その他

- ・ 札幌支部長より、札幌支部で HP を作ることを進めているが、北海道協会で現在運営している HP の機能を充実させて支部情報の発信に活用できる方向で対応してほしいとの提案があり了承された。
- ・ 広報委員長から、平成 19 年度までは、北海道協会の HP で「支部だより」を設けて各支部の事業計画・試合日程・支部役員・加盟チームなどの情報をアップしていたが、個人情報保護や各支部からの情報のアンバランスから「支部だより」を中止していた。今後は、個人情報保護の対策や各支部からの情報提供システムの構築を行い積極的に支部に利用してもらうようにしていくことが報告された。
- ・ レフリーソサエティ委員長より、レフリーの資格更新状況、住所などについて支部で把握しておくことが要請された。
- ・ 会計担当理事より、各委員会における日本協会、関東協会の補助金関係の問合せを含む全てのやり取りは北海道協会会計担当理事を通じて行うことが要請され承認された。

以上